

観世九皇会 六月定例会

令和三年六月十三日(日) 於 矢来能楽堂

【第一部】 午後十二時三十分開演 (正午開場)

番組

狂言 長光 シテ 三宅 右近
Nagamisu アド 三宅 右矩
少下 前田 晃一
後見 三宅 近成

休憩十分

(午後十二時五十五分頃)

トモ 奥川 恒成
ツレ 佐久間 二郎
シテ 小島 英明
能 小督 ワキ 村瀬 提
Kogo 小鼓 佃 良太郎
間 金田 弘明 笛 栗林 祐輔

後見 新井麻衣子
中森 貫太
久保田 宏二
桑田 貴志
地謡 永島 充
長山 耕三
中森 健之介

(終演予定 午後二時)

【第二部】 午後三時開演 (午後二時三十分開場)

番組

仕舞 雨月 弘田 裕一
班 杜若 キリ 永島 忠修
女 觀世 喜之
舞アト 金子仁智翔
中森健之介
地謡 駒瀬 直也
遠藤 喜久
石井 寛人

休憩五分

(午後三時二十分頃)

シテ 坂真太郎
ワキツレ 矢野 昌平
ワキ 福王 和幸
ワキツレ 村瀬 慧
間 三宅 近成
能 誓願寺 Seiganji 大鼓 佃 良勝
小鼓 大倉源次郎 太鼓 林 雄一郎
竹市 学

後見 鈴木 啓吾
遠藤 和久
地謡 河井 美紀
觀世 恒治
中所 喜正
遠藤 喜久

(終演予定 午後五時十分)

附祝言

《あらすじ》

狂言 長光

太刀を携えた田舎者の男が大津松本の市にやつてきた。そこへすっぱ(詐欺師)が近づき、太刀を盗もうとする。仲裁に入った目代が一人ずつ事情を聞き出すと、すっぱは田舎者の返答を真似して目代を騙そうと企むが…。

能 小督

小督局は高倉天皇の寵愛を受けていたが、中宮(平清盛の娘)に憚って自ら姿をくらしめた。その行方を追うよう命じられた源仲国は嵯峨野に向かい、琴の音を頼りに居場所を探し当てる。小督局は帝からの文を受け取り、返事を仲国に託す。仲国は名残の酒宴で舞い、小

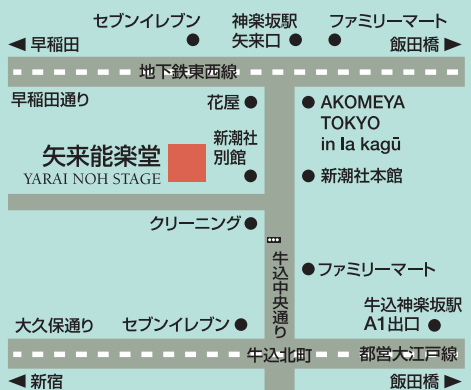
督局に見送られて都へ帰っていく。

月が輝く秋の嵯峨野の中を、仲国が馬を駆り小督局を探す「駒之段」は本曲の見所となっている。

能 誓願寺

熊野で霊夢を授かった一遍上人が京都の誓願寺で札を広めていると、札を受けた女が札の意味を尋ねる。やがて夜が更け、女は上人に誓願寺の額を六字の名号に掛け替えるよう頼み、自らを和泉式部であると明かして墓へ消えていく。上人が所の者に和泉式部について尋ね、額を掛け替えたところ、歌舞の菩薩となった和泉式部が現れる。

仏教による救いを主題にした、清らかで気品の高い能。



162-0805 東京都新宿区矢来町60
地下鉄東西線神楽坂駅 矢来口より徒歩2分 都営大江戸線牛込神楽坂 A1出口より徒歩5分 駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。